

科目名	建築計画 I A						学期	前 期		
担当教員	横田 貴子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	4	
学習目的	二級建築士建築計画の範囲を学び、建築計画の基本を理解する。									
授業内容	二級建築士の建築計画を学ぶ。特に計画原論(環境工学)、建築設備。									
学習目標	二級建築士の建築計画の試験内容を学び理解する。									
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 計画テキスト、問題集、トレイントレーニング									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	1-1 気候・空気						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
2	1-2 熱						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
3	1-3 光						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
4	1-4 音						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
5	1-5色彩 1-6 計画原論 用語・単位						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
6	確認テスト①						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
7	2-1 空調機械設備						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
8	2-2 給水設備						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
9	2-3 排水・衛生設備						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
10	2-4 電気・照明設備①						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
11	2-4 電気・照明設備②						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
12	2-5 消火・防災設備						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
13	2-6 環境・省エネルギー 2-7 建築設備						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
14	確認テスト②						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
15	レポート課題発表						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他	50 %	確認テストより評価							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築計画 I B						学期	後 期	
担当教員	横田 貴子	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築計画の範囲を学び、建築計画の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築計画を学ぶ。特に計画各論、建築史。								
学習目標	二級建築士の建築計画の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 計画テキスト、問題集、トレイントレーニング								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	3-1 住宅建築	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	3-2 商業施設	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	3-3 文化施設	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	3-4 教育施設	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	3-5 医療・福祉施設	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	3-6 各部計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	3-6 各部計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	3-7 建築生産	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	3-8 都市計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	3-9 計画各論 用語 4 建築史①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	4 建築史②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	4 建築史③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	レポート課題発表	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合		評価内容						
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	50 %	確認テストより評価						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築計画ⅡA						学期	後 期	
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士の環境工学を学び、建築計画の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の環境工学を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の建築計画の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科Ⅱ新体系テキスト(環境設備)、TAC 過去問題集(環境設備)、その他適宜プリント配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	1 建築士の職責・業務	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	2 建築物の環境共生	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	3 マネジメント	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	4-2 集合住宅	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	5 公共建築	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	5-8 公共建築の実例	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	4-3 劇場	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	7-2 面積算定・寸法設計の概要	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	確認テスト④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	10 積算 8 都市計画	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	9 建築史	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト⑤	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20%	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30%	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50%	確認テスト、期末テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築環境工学ⅡA						学期	前期		
担当教員	大楠 安紀	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2	
学習目的	一級建築士建築環境工学の範囲を学び、環境設備の基本を理解する。									
授業内容	一級建築士の環境工学を学ぶ。									
学習目標	一級建築士の環境工学の試験内容を学び理解する。									
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科Ⅱ新体系テキスト(環境設備)、TAC 過去問題集(環境設備)、その他適宜プリント配布									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	室内環境						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
2	室内環境						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
3	換気						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
4	換気						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
5	伝熱・結露						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
6	伝熱・結露						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
7	日照・日射						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
8	日照・日射						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
9	採光・照明						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
10	採光・照明						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
11	色彩						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
12	色彩						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
13	音響						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
14	音響						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
15	確認テスト						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	20 %				授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況				
	2. 授業姿勢	30 %				①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価				
	3. テストその他	50 %				確認テスト、期末テストより評価				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築設備ⅡA						学期	前	期	期
担当教員	大楠 安紀	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2	
学習目的	一級建築士建築設備の範囲を学び、環境設備の基本を理解する。									
授業内容	一級建築士の設備を学ぶ。									
学習目標	一級建築士の設備の試験内容を学び理解する。									
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科Ⅱ新体系テキスト(環境設備)、TAC 過去問題集(環境設備)、その他適宜プリント配布									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	建築設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
2	建築設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
3	建築設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
4	空気調和設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
5	空気調和設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
6	空気調和設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
7	給排水衛生設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
8	給排水衛生設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
9	照明設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
10	照明設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
11	電気・輸送設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
12	電気・輸送設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
13	消火・防災設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
14	消火・防災設備	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
15	確認テスト	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと							
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること							
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築法規 I A						学期	前 期		
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2	
学習目的	二級建築士建築法規の範囲を学び、建築法規の基本を理解する。									
授業内容	二級建築士の建築法規を学ぶ。特に建築基準法等。									
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。									
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 法規テキスト、問題集、トレイントレーニング、建築関係法令集(法令編) ※適宜プリント配布									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	1-1 用語の定義						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
2	1-2 確認申請・建築手続						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
3	1-3 面積・高さ等の算定						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
4	1-4 一般構造						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
5	確認テスト①						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
6	1-5 耐火・防火						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
7	1-6 防火地域・準防火地域						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
8	1-7 防火区画						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
9	1-8 避難施設等						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
10	確認テスト②						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
11	1-9 内装制限①						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
12	1-9 内装制限②						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
13	1-10 構造計算・構造強度						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
14	1-11 敷地等と道路						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
15	確認テスト③						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他	50 %	確認テストより評価							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築法規 I B						学期	後 期	
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築法規の範囲を学び、建築法規の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築法規を学ぶ。特に建築基準法等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 法規テキスト、問題集、トレイントレーニング、建築関係法令集(法令編) ※適宜プリント配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	1-12 用途地域	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	1-13 建蔽率	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	1-14 容積率	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	1-15 高さ制限	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	1-16 日陰規制	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	1-17 雑則・その他の規定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	2-1 建築士法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	2-2 バリアフリー法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	2-3 耐震改修促進法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	2-4 品確法・瑕疵担保履行法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	2-5 都市計画法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	2-6 その他の関係法令	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築法規ⅡA						学期	前期	
担当教員	吉野 由美	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士建築法規の範囲を学び、法規の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の設備を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の法規を学ぶ。								
使用テキスト	建築関係法令集 法令編、その他適宜プリント配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	1-1 建築士法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	1-2 建設業法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	2-1 建築基準法 用語の定義	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	2-1 建築基準法 用語の定義	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	2-2 確認申請等の手続き規定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	2-2 確認申請等の手続き規定	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	2-3 防火関係規定①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	2-3 防火関係規定②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	2-4 避難関係規定①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	2-4 避難関係規定①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	2-5 内装制限等①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	2-5 内装制限等②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テスト、期末テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築構造力学 I A						学期	前 期	
担当教員	竹端 陽一／間部 啓啓	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造(力学)の範囲を学び、構造力学の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の構造力学を学ぶ。特に力のつり合い、反力、応力(部材に生じる力)、トラス等。								
学習目標	二級建築士の構造の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング ※適宜プリント配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	0 基礎数学テスト	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	1-1 力のつり合い 1-1-1 力 1-1-2 モーメント	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	1-1-3 力の合成と分解 1-1-4 力のつり合い	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	1-1-5 構造物に働く力(過重) 1-2-1 構造物のモデル化	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	1-2 反力 1-2-2 支点と反力 1-2-3 構造物の種類	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	1-2-4 反力の求め方 1-2-4-1 基本	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	1-2-4-3 鉛直反力の公式	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	片持ち梁の反力 トラスの反力	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	静定ラーメンの反力	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	1-3-1 応力の種類 1-3-2 応力の求め方 基本	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	1-3-2 応力の求め方 応用	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	1-3-3 応力図	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築構造力学ⅠB						学期	後 期	
担当教員	竹端 陽一／間部 啓亮	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造(力学)の範囲を学び、基本的な構造力学が理解出来るようになる。								
授業内容	二級建築士の構造力学を学ぶ。特に座屈、応力度等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング ※適宜プリント配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	前期の復習	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	1-4 トラス	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	1-4-2-1 切断法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	1-4-2-2 図解法	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	1-5-1 断面一次モーメント	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	1-5-2 断面二次モーメント	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	1-5-3～1-5-5 断面係数～剛度と剛比	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	1-6 座屈	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	1-7-1～1-7-3 応力度の種類～せん断応力度	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	1-7-4 曲げ応力度	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	1-7-5 許容応力度	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	1-7-6、1-7-7 部材の変形、構造力学で用いる単位・用語	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築一般構造 I A口						学期	後 期	
担当教員	竹端 陽一／間部 啓亮口	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造(建築一般構造)の範囲を学び、建築一般構造の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の建築一般構造を学ぶ。特に荷重・外力、構造計画、地盤・基礎、木造等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング ※適宜プリント配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	2-1 荷重・外力①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	2-1 荷重・外力②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	2-1 荷重・外力③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	2-2 構造計画①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	2-2 構造計画②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	2-2 構造計画③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	2-2-2 その他の構造計画 2-2-3 代表的な構造種別	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	2-3 地盤・基礎①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	2-3 地盤・基礎②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	2-4 木造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	2-4 木造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	2-4 木造③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築一般構造 II A						学期	前 期	
担当教員	竹端 陽一／間部 啓吾	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士建築構造(一般構造)の範囲を学び、一般構造の基本を理解する。								
授業内容	二級建築士の一般構造を学ぶ。特に鉄筋コンクリート造、壁構造、鉄骨造等。								
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	2-5 鉄筋コンクリート造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	2-5 鉄筋コンクリート造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	2-5 鉄筋コンクリート造③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	2-5 鉄筋コンクリート造④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	2-6 壁構造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	2-6 壁構造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	確認テスト①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	2-7 鉄骨造①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	2-7 鉄骨造②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	2-7 鉄骨造③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	2-7 鉄骨造④	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	確認テスト②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	2-8 その他の構造等①	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	2-8 その他の構造等②	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	確認テスト③	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評 価 内 容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テスト、期末テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築材料ⅡA						学期	前	期	期
担当教員	竹端 陽一／間部 啓吉	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2	
学習目的	二級建築士建築構造(建築材料)の範囲を学び、建築材料の基本を理解する。									
授業内容	二級建築士の建築材料を学ぶ。特に木材、木質系材料、鉄筋コンクリート、鋼材等。									
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。									
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 構造テキスト、問題集、トレイントレーニング ※適宜プリント配布									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	2-4-1 木材①					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
2	2-4-1 木材②					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
3	2-4-2 木質系材料①					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
4	2-4-2 木質系材料②					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
5	確認テスト①					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
6	2-5-1 鉄筋 2-5-2-1 セメント					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
7	2-5-2-2 骨材 2-5-2-3 各種強度					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
8	2-5-2-4 ヤング係数(弾性係数) 2-5-2-5 その他の性質					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
9	2-5-2-6 ワークビリティ(施工軟度) 2-5-2-7 コンクリートの調合 2-5-2-8 混和剤					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
10	確認テスト②					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
11	2-7-1 鋼材①					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
12	2-7-1 鋼材②					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
13	2-7-1 鋼材③					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
14	2-7-1 鋼材④					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
15	確認テスト③					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと			
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること			
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他	50 %	確認テスト、期末テストより評価							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築構造力学ⅡA						学期	後 期		
担当教員	竹端 陽一／間部 啓吾	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2	
学習目的	一級建築士建築構造(力学)の範囲を学び、構造力学の基本を理解する。									
授業内容	一級建築士の構造力学を学ぶ。									
学習目標	一級建築士の構造の試験内容を学び理解する。									
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科Ⅳ新体系テキスト(構造)、TAC 過去問題集(構造)、その他適宜プリント配布									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	1-1 カのつり合い 1-2 安定・静定						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
2	1-3 静定構造物の反力						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
3	2-1 応力 2-2 静定ばりの応力計算						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
4	確認テスト①						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
5	2-3 静定ラーメンの応力計算						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
6	2-4 静定3ヒンジラーメンの応力計算						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
7	2-5 静定トラス						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
8	3-1 部材の性質						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
9	確認テスト②						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
10	3-2 応力度と許容応力度						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
11	3-3 部材の変形(たわみとたわみ角)						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
12	3-4 座屈 確認テスト③						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
13	4-1 不静定構造物の応力と変形						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
14	4-2 耐震の基本理念						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
15	確認テスト④						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	評価項目/割合					評 価 内 容				
評価基準	1. 課題	20 %				授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況				
	2. 授業姿勢	30 %				①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価				
	3. テストその他	50 %				確認テスト、期末テストより評価				
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

科目名	建築施工 I A						学期	前	期	期	
担当教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2		
学習目的	二級建築士建築施工の範囲を学び、建築施工の基本を理解する。										
授業内容	二級建築士の建築施工を学ぶ。特に契約・計画・管理、各部工事等。										
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。										
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 施工テキスト、問題集、トレイントレーニング ※適宜プリント配布										
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	1-1 契約					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
2	1-2 施工計画					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
3	1-3 管理計画					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
4	確認テスト①					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
5	2-1 仮設工事					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
6	2-2 地盤・土工事・基礎					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
7	2-3 鉄筋工事 2-4 型枠工事					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
8	確認テスト②					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
9	2-5 コンクリート工事①					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
10	2-5 コンクリート工事②					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
11	2-6 鉄骨工事①					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
12	2-6 鉄骨工事②					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
13	2-7 コンクリートブロック工事 2-8 ALCパネル工事 2-9 押出成形セメント板工事					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
14	2-10 木工事					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
15	確認テスト③					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと				
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること				
	評価項目/割合					評価内容					
評価基準	1. 課題	20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況								
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価								
	3. テストその他	50 %	確認テストより評価								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他											

科目名	建築施工ⅡA						学期	前期		
担当教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2	
学習目的	二級建築士建築構造(施工)の範囲を学び、建築施工の基本を理解する。									
授業内容	二級建築士の建築施工を学ぶ。特に各部工事等。									
学習目標	二級建築士の試験内容を学び理解する。									
使用テキスト	総合資格学院 二級建築士学科 施工テキスト、問題集、トレイントレーニング ※適宜プリント配布									
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	2-11 防水工事						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
2	2-12 屋根工事						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
3	2-13 左官工事						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
4	2-14 タイル・石工事						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
5	確認テスト①						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
6	2-15 塗装工事						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
7	2-16 建具・ガラス工事						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
8	2-17 内装工事						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
9	2-18 改修工事						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
10	確認テスト②						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
11	2-19 設備工事						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
12	3-1 施工機械・器具						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
13	3-2 測量						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
14	3-3 積算・見積						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
15	確認テスト③						【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
							【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	評価項目/割合					評価内容				
評価基準	1. 課題	20 %				授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況				
	2. 授業姿勢	30 %				①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価				
	3. テストその他	50 %				確認テスト、期末テストより評価				
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他										

科目名	建築施工ⅡB						学期	後 期	
担当教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士建築施工の範囲を学び、建築施工の基本を理解する。								
授業内容	一級建築士の建築施工を学ぶ。								
学習目標	一級建築士の施工の試験内容を学び理解する。								
使用テキスト	TAC 1級建築士試験 学科Ⅳ新体系テキスト(施工)、TAC 過去問題集(施工)、その他適宜プリント配布								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	工事全体の流れ	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
2	施工計画・工程管理	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
3	材料管理、申請・届出	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
4	測量・地盤調査	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
5	仮設工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
6	土工事・山留め工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
7	基礎工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
8	鉄筋工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
9	型枠工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
10	コンクリート工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
11	鉄骨工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
12	防水工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
13	木工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
14	改修工事	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
15	請負契約	【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと						
		【事後】	課題は次の授業まで終わらせること						
	評価項目/割合	評価内容							
評価基準	1. 課題 20 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況							
	2. 授業姿勢 30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価							
	3. テストその他 50 %	確認テスト、期末テストより評価							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科目名	建築設計製図 I A						学期	前期	
担当教員	鬼塚 来未	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	二級建築士設計製図の範囲を学び、基本的な作図ができるようになる。								
授業内容	製図道具の使い方、線の書き方を習得し、建築の一般図の種類と表現方法・内容理解を目指す。								
学習目標	製図道具の使い方を理解し、使用することが出来るようになる。 一般図の種類と表現方法・内容が説明できる。								
使用テキスト	令和8年度版 2級建築士試験 設計製図テキスト								
週数	授業計画								
1	オリエンテーション・製図道具解説 線の種類と基本作図練習								
2	木造の専用住宅、併用住宅について、二級建築士 設計製図試験の概要・図面の構成と一般図の種類・名称理解								
3	図面の構成と一般図の種類・名称理解								
4	図面の構成と一般図の種類・名称理解								
5	作図模擬試験								
6	作図演習①								
7	RC造の構造概要と図面の違い RC造 平面図の描き方								
8	RC造 立面図の描き方								
9	RC造 断面図・部分詳細図の描き方								
10	作図模擬試験②								
11	作図演習② 一縮尺の理解一								
12	作図演習③ 一方眼に頼らない作図一								
13	作図演習④ 一図面を読む一								
14	作図演習⑤ 一木造図面：時間を意識する一								
15	作図演習⑥ 一RC図面：時間を意識する一								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	建築設計製図ⅠB						学期	後	期
担当教員	鬼塚 来未	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	建築設計製図ⅠAで培った空間発想力や構想力を基礎に、建築空間を図面や模型として具体的・実務的に表現する力を養う。								
授業内容	建築設計基礎ⅠAの構想・アイデア検討の成果をもとに空間の具体的な設計と作図・模型制作を行う。空間構成の発想から具体化までのプロセスを実践的に体得する。								
学習目標	自らの設計意図や工夫を図面・模型・ダイアグラム・スケッチ等で伝える力を養う。設計構想を図面や模型で具体化するスキルを身につける。使用者のニーズや行為から空間を構成するゾーニング・配置計画の考え方を理解する。グループワークを通して他者と協働しながら設計を進める経験を得る。発表・講評を通じて、自己表現と振り返り・改善の態度を育む。一般図の種類と表現方法・内容が説明できる。								
使用テキスト	令和8年度版 2級建築士試験 設計製図テキスト								
週数	授業計画								
1	優れた住宅に学ぶ-住宅分析と図面解読トレーニング- 新建築データから任意で選択した住宅について理解を深め自分の設計に活かす。								
2	優れた住宅に学ぶ-住宅分析と図面解読トレーニング- 前回調べた内容を説明する。他の人が調べた住宅や意見を理解する。								
3	3㎡空間「行為」から空間を考える④:他者に伝える表現を考える								
4	抽象語から空間を発想する②:ゾーニングやスケッチで空間イメージを膨らませる。								
5	抽象語から空間を発想する④:ゾーニングやスケッチで空間イメージを膨らませる。								
6	関係性から住空間を考える②:ヒアリングと前提条件整理								
7	関係性から住空間を考える④:ゾーニングやスケッチで空間イメージを膨らませる。								
8	関係性から住空間を考える⑥:基本設計をまとめる								
9	関係性から住空間を考える⑧:製図・模型製作								
10	環境から公共空間を考える②:敷地調査・条件整理・可能性の洗い出し								
11	環境から公共空間を考える④:グループディスカッションをしながらゾーニング案を練る								
12	環境から公共空間を考える⑥:案を絞り、ブラッシュアップする								
13	環境から公共空間を考える⑧:製図・模型製作								
14	環境から公共空間を考える⑩:図面・模型の仕上げ								
15	最終発表								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	建築設計基礎 I A						学期	後 期	
担当教員	鬼塚 来未	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	選択必修	単位数	2
学習目的	建築設計における多様なアプローチ手法を学び、与えられたテーマに対して自ら設計コンセプトを構築し、思考の道筋を立てられる力を育成する。								
授業内容	本授業では、4つの設計課題を通して、行為・言葉・関係・環境など、異なる切り口からの設計アプローチを体験する。それぞれの課題で、自らのコンセプトを立て、建築的思考のプロセスを段階的に学ぶ。製図 I Bと連携した授業構成とし、構想(発想)と具現化(図面・模型)の往復を通して、建築設計の基礎的な思考力と表現力の向上を目指す。								
学習目標	与えられたテーマに対し、仮説を立て、設計コンセプトとして論理的に整理することができる。製図 I Bでの設計検討をふまえて、フィードバックを得ながらさらに設計を深める思考ができる。自らの設計意図や考えを、他者に伝わる言葉や図・スケッチで表現することができる。								
使用テキスト	令和8年度版 2級建築士試験 設計製図テキスト、他								
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	ガイダンス／設計とは？／空間とは？ 3㎡空間「行為」から空間を考える①					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
2	3㎡空間「行為」から空間を考える②:「行為」から「形」を考える					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
3	3㎡空間「行為」から空間を考える③:形に寸法を与える					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
4	3㎡空間「行為」から空間を考える⑤:自分の案を伝える。相手の案を理解する。抽象語から空間を発想する①:テーマ決定と想像の広げ方					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
5	抽象語から空間を発想する③:プランスケッチ 言葉を形にする					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
6	抽象語から空間を発想する⑤:自分の案を伝える。相手の案を理解する。					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
7	関係性から住空間を考える③:イメージを膨らませる					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
8	関係性から住空間を考える⑤:コンセプトを固めていく					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
9	関係性から住空間を考える⑦:コンセプトを強化・プレゼン表現の検討					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
10	関係性から住空間を考える⑨:自分の案を伝える。相手の案を理解する。 環境から公共空間を考える①:導入					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
11	環境から公共空間を考える③:敷地の魅力や課題を見つけ、可能性を探る					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
12	環境から公共空間を考える⑤:コンセプトの整理					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
13	環境から公共空間を考える⑦:設計主旨の整理・発表構成の検討					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
14	環境から公共空間を考える⑨:プレゼン練習・資料整理					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
15	最終発表 ー自分の案を伝える。相手の案を理解する。ー					【事前】	テキストの該当範囲を読んでおくこと		
						【事後】	課題は次の授業まで終わらせること		
	評価項目/割合					評価内容			
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	建築設計製図ⅡA						学期	前期	
担当教員	伏間 崇太郎	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	一級建築士設計製図に対応できる力を身に着ける。								
授業内容	一級建築士設計製図の範囲を実践する。								
学習目標	一級建築士設計製図試験の傾向と対策を学ぶ。 課題の読み取り、エスキス、作図、要点記述を時間管理できるようになる。								
使用テキスト	適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	1級建築士設計製図試験概要・時間管理等・作図練習								
2	読み取り 作図トレーニング								
3	エスキス① 作図トレーニング								
4	エスキス② 作図トレーニング								
5	エスキス③ 作図トレーニング								
6	エスキス④ 作図トレーニング								
7	要点記述① 作図トレーニング								
8	要点記述② 作図トレーニング								
9	要点記述③ 作図トレーニング								
10	課題1 読み取り・エスキスプロセス								
11	課題1 作図・要点記述								
12	課題2 読み取り・エスキスプロセス								
13	課題2 作図・要点記述								
14	課題3 読み取り・エスキスプロセス								
15	課題3 作図・要点記述								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	Photoshop・illustrator I A						学期	前	期
担当教員	横田 貴子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	Photoshop及びIllustratorの基本操作と基礎知識の習得								
授業内容	illustratorをメインに進行。illustratorを活用した課題制作を行う。								
学習目標	Photoshop及びIllustratorの役割を理解し、illustratorの基礎知識を理解、基本操作ができるようになる。								
使用テキスト	illustrator&Photoshop 基本がしっかりわかる授業 作って学ぶデザイン								
週数	授業計画								
1	01 IllustratorとPhotoshopの基本 02 オブジェクトの基本操作を覚えよう								
2	03 図形の組み合わせでイラストを描こう								
3	04 「線」を描こう								
4	05 色をつけよう								
5	06 オブジェクトの編集とレイヤーの仕組みを理解しよう								
6	07 文字をデザインしよう								
7	08 画像を配置しよう								
8	09 Illustratorでデザインをつくってみよう								
9	課題①								
10	課題①								
11	発表・プレゼンテーション①								
12	課題②								
13	課題②								
14	課題②								
15	発表・プレゼンテーション②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	課題の完成度と発表内容で評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	Photoshop・illustrator I B						学期	後	期
担当教員	横田 貴子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	Photoshop及びIllustratorの基本操作と基礎知識の習得								
授業内容	Photoshopをメインに進行。Photoshopとillustratorを活用した課題制作を行う。								
学習目標	Photoshop及びIllustratorの役割を理解し、Photoshopとillustratorの基礎知識を理解、基本操作ができるようになる。								
使用テキスト	illustrator&Photoshop 基本がしっかりわかる授業 作って学ぶデザイン								
週数	授業計画								
1	10 Photoshopの「レイヤー」を学ぼう								
2	11 画像全体の大きさと色を補正しよう								
3	12 画像の選択範囲を指定しよう								
4	13 写真の一部を修正 &加工しよう								
5	14 フィルター効果で写真の印象をよくしよう								
6	15 画像に描画しよう								
7	16 Photoshopで本格フォトタッチに挑戦しよう								
8	17 Photoshop×Illustratorでデザインを作ろう								
9	18 用途に合わせてデータを書き出そう								
10	課題①								
11	課題①								
12	発表・プレゼンテーション①								
13	課題②								
14	課題②								
15	発表・プレゼンテーション②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	課題の完成度と発表内容で評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	JWCAD I A						学期	前期	
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	JWCADのコマンド操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得								
授業内容	基本操作演習と作図課題演習に取り組む								
学習目標	基本操作とCADソフトの概要把握、作図演習を通して図面作成の流れを掴む								
使用テキスト	初めての建築CAD—Windows版JW_CADで学ぶ、建築CAD検定試験問題集 2026年度版								
週数	授業計画								
1	基本作図操作(線分・消去・矩形・中心線・複線)								
2	基本作図操作(円・円弧・接円・接点・点)								
3	基本作図操作(伸縮・コーナー・面取・分割)								
4	基本作図操作(複写・移動・パラメトリック・多角形・測定)								
5	基礎課題1(木造住宅) 図枠作成・レイヤ設定・配置図作成								
6	基礎課題1(木造住宅) 配置図作成								
7	基礎課題1(木造住宅) レイヤ設定・1階平面図作成								
8	基礎課題1(木造住宅) 1階平面図作成・2階平面図作成								
9	基礎課題1(木造住宅) 2階平面図作成								
10	基礎課題1(木造住宅) 建築概要作成・印刷設定、小テスト								
11	基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成								
12	基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 1階平面図作成								
13	基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 2階平面図作成								
14	基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成								
15	基礎課題2(鉄筋コンクリート造) 断面図作成・印刷設定、小テスト								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	課題の出来栄と発表内容で評価、学生からも評価を募り評価に反映する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	JWCAD I B						学期	後	期
担当教員	小林 弘二	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	建築CAD検定2級相当の知識と作図スキルの習得								
授業内容	演習課題と実存建築物の作図演習								
学習目標	建築CAD検定2級相当の知識と作図スキルの習得								
使用テキスト	初めての建築CAD—Windows版JW_CADで学ぶ、建築CAD検定試験問題集 2026年度版								
週数	授業計画								
1	建築CAD検定2級の概要説明 演習課題1 作図準備								
2	演習課題1 作図準備・平面図作成								
3	演習課題1 平面図・立面図作成								
4	演習課題1 立面図・断面図、概要作成								
5	演習課題2 作図準備・平面図作成								
6	演習課題2 平面図・立面図作成								
7	演習課題2 立面図・断面図作成								
8	中間テスト、応用演習説明								
9	応用演習1 実存建築物図面トレース								
10	応用演習1 実存建築物図面トレース								
11	応用演習1 実存建築物図面トレース、各自発表								
12	応用演習2 実存建築物図面トレース								
13	応用演習2 実存建築物図面トレース								
14	応用演習2 実存建築物図面トレース								
15	応用演習2 実存建築物図面トレース、各自発表								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	課題の出来栄と発表内容で評価、学生からも評価を募り評価に反映する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻がないか ②受講マナーが良好か ③クラスの授業に協力的か、④授業中に良く聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ⑤忘れ物をしない 以上の観点から評価。						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	建築図学 I A						学期	前期	
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	建築のパースを理解し作図出来る								
授業内容	設計途中においてもっとも重要となるイメージパースを理解し、クライアントの要望を「絵」として具体的に表現する方法を学ぶ。								
学習目標	建築パースの役割を意義を説明できる。1.消点(グリッド法)図法を使ってパースを描ける。2.消点(グリッド法)図法を使ってパースを描ける。図面を使って室内のフリーハンドイメージパースを描ける。内観パースに着色し、カラーパースとして完成させる。								
使用テキスト	だれでもできる超簡単建築パース								
週数	授業計画								
1	1 遠近法の話								
2	2-1 簡単パースの話								
3	2-3 簡単パースの話								
4	2-4 簡単パースの話								
5	2-5 簡単パースの話								
6	2-6 簡単パースの話								
7	2-7 簡単パースの話								
8	2-8 簡単パースの話								
9	2-9 簡単パースの話								
10	3-1 パースを彩る話								
11	3-2 パースを彩る話								
12	3-3 パースを彩る話								
13	3-4 パースを彩る話								
14	4-1 投影図の話								
15	4-2 投影図の話								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	建築図学 I B						学期	後	期
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	1
学習目的	建築の作図からパースを起こしプレゼンテーションができる								
授業内容	インテリアデザインの実技、製図、パース、模型、プレゼンテーション。								
学習目標	建築図学 I Aからより深くインテリアの焦点を当ててパース作図を中心にプレゼンテーションができるようになる。								
使用テキスト	だれでもできる超簡単建築パース								
週数	授業計画								
1	1 インテリアデザインの実技、製図の説明								
2	2-2 インテリア要素の製図(置き家具)								
3	2-2 インテリア要素の製図(造作家具)								
4	2-3 インテリア空間の製図(平面図)								
5	2-3 インテリア空間の製図(断面図)								
6	2-3 インテリア空間の製図(展開図)								
7	2-3 インテリア空間の製図(天井伏図)								
8	3-2 アイソメ、アクソメ復習								
9	3-3 一点透視図復習								
10	3-3 二点透視図復習								
11	4-2 インテリア模型の作り方①								
12	4-2 インテリア模型の作り方②								
13	4-2 インテリア模型の作り方③								
14	プレゼンテーション①								
15	プレゼンテーション②								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	専攻ゼミⅡA						学期	前期	
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	設計段階でインフィルとスケルトンを意識できるようになる。								
授業内容	エスキス、模型作成、図面作成、プレゼンテーション。								
学習目標	時代の変化に対応出来るようリフォーム、リノベーション設計を学び概要を説明できる。								
使用テキスト	適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	ガイダンス、課題の説明(木造)、グループ決め 役割分担、コンセプト作成、エスキス制作								
2	エスキス完成、模型製作開始 模型作成								
3	模型作成								
4	プレゼンテーション資料作成 プレゼンテーション、講評								
5	ガイダンス、課題の説明(RC造) 課題分析、資料集め								
6	エスキス(構造の確認、コンセプト設定) エスキス(ラフ図面)								
7	エスキス(ラフ図面)、ラフ図面提出、コンセプトの教員確認 ラフ図面・コンセプトの修正								
8	図面作成 タイトル・コンセプト 図面作成 平面図								
9	図面作成 内観パース 構図検討 図面作成 内観パース① 下書き								
10	図面作成 内観パース① ペン入れ 図面作成 内観パース① 着色								
11	模型作成 部材粹取り 模型作成 部材切抜								
12	模型作成 部材組合せ 模型作成 細部作成								
13	模型作成 部分修正 模型作成 仕上げ								
14	プレゼンテーション資料作成 課題発表シミュレーション								
15	発表と講評								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %	-						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	専攻ゼミⅡB(卒業研究)						学期	後	期
担当教員	吉川 和博	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	2
学習目的	前期の授業の学習内容を踏まえ、後期の授業では実際の木造住宅のリフォーム設計を行いリフォームについて学んでいく。								
授業内容	数多くの情報を収集し必要な情報のみを分析しオリジナルのプランニングにまとめる。								
学習目標	プランニング・デザイン・コンセプトをプレゼンテーションできる								
使用テキスト	適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	ガイダンス、課題の説明(木造)、グループ決め 役割分担、コンセプト作成、エスキス制作								
2	エスキス完成、模型製作開始 模型作成								
3	模型作成								
4	プレゼンテーション資料作成 プレゼンテーション、講評								
5	ガイダンス、課題の説明(RC造) 課題分析、資料集め								
6	エスキス(構造の確認、コンセプト設定) エスキス(ラフ図面)								
7	エスキス(ラフ図面)、ラフ図面提出、コンセプトの教員確認 ラフ図面・コンセプトの修正								
8	図面作成 タイトル・コンセプト 図面作成 平面図								
9	図面作成 内観パース 構図検討 図面作成 内観パース① 下書き								
10	図面作成 内観パース① ペン入れ 図面作成 内観パース① 着色								
11	模型作成 部材粹取り 模型作成 部材切抜								
12	模型作成 部材組合せ 模型作成 細部作成								
13	模型作成 部分修正 模型作成 仕上げ								
14	プレゼンテーション資料作成 課題発表シミュレーション								
15	発表と講評								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	課題解決学習 I A						学期	前期	
担当教員	横田 貴子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	様々な課題に取り組む								
授業内容	実践を交えてより深く考えていく								
学習目標	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	2年合同で授業を行う、現場視察等								
2	2年合同で授業を行う、現場視察等								
3	2年合同で授業を行う、現場視察等								
4	2年合同で授業を行う、現場視察等								
5	2年合同で授業を行う、現場視察等								
6	2年合同で授業を行う、現場視察等								
7	2年合同で授業を行う、現場視察等								
8	2年合同で授業を行う、現場視察等								
9	2年合同で授業を行う、現場視察等								
10	2年合同で授業を行う、現場視察等								
11	2年合同で授業を行う、現場視察等								
12	2年合同で授業を行う、現場視察等								
13	2年合同で授業を行う、現場視察等								
14	2年合同で授業を行う、現場視察等								
15	2年合同で授業を行う、現場視察等								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	実習先からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率などから算出						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	課題解決学習 I B						学期	後	期
担当教員	横田 貴子	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	様々な課題に取り組む								
授業内容	実践を交えてより深く考えていく								
学習目標	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	2年合同で授業を行う、現場視察等								
2	2年合同で授業を行う、現場視察等								
3	2年合同で授業を行う、現場視察等								
4	2年合同で授業を行う、現場視察等								
5	2年合同で授業を行う、現場視察等								
6	2年合同で授業を行う、現場視察等								
7	2年合同で授業を行う、現場視察等								
8	2年合同で授業を行う、現場視察等								
9	2年合同で授業を行う、現場視察等								
10	2年合同で授業を行う、現場視察等								
11	2年合同で授業を行う、現場視察等								
12	2年合同で授業を行う、現場視察等								
13	2年合同で授業を行う、現場視察等								
14	2年合同で授業を行う、現場視察等								
15	2年合同で授業を行う、現場視察等								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	実習先からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率などから算出						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	測量士 I A						学期	前	期
担当教員	梶川 誠	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	測量士補の範囲を学び、測量の基本を理解する。								
授業内容	測量士補を学ぶ。								
学習目標	測量士補の範囲を学び、測量の基本を理解する。								
使用テキスト	測量、測量士補問題集2025年版、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	測量士補試験対策								
2	測量士補試験対策								
3	測量士補試験対策								
4	測量士補試験対策								
5	測量士補試験対策								
6	測量士補試験対策								
7	測量士補試験対策								
8	測量士補試験対策								
9	測量士補試験対策								
10	測量士補試験対策								
11	測量士補試験対策								
12	測量士補試験対策								
13	測量士補試験対策								
14	測量士補試験対策								
15	測量士補試験対策								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	測量士IB						学期	後	期
担当教員	梶川 誠	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	2
学習目的	測量士補の範囲を学び、測量の基本を理解する。								
授業内容	測量士補を学ぶ。								
学習目標	測量士補の範囲を学び、測量の基本を理解する。								
使用テキスト	測量、測量士補問題集2025年版、適宜プリント配布								
週数	授業計画								
1	測量士補試験対策								
2	測量士補試験対策								
3	測量士補試験対策								
4	測量士補試験対策								
5	測量士補試験対策								
6	測量士補試験対策								
7	測量士補試験対策								
8	測量士補試験対策								
9	測量士補試験対策								
10	測量士補試験対策								
11	測量士補試験対策								
12	測量士補試験対策								
13	測量士補試験対策								
14	測量士補試験対策								
15	測量士補試験対策								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	授業中の課題、授業後課題の内容と取組状況						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席や遅刻はないか、②私語がなく受講マナーは良好か、③授業中によく聞き、メモ、質問、発言など自ら工夫し積極的に授業に参加しているか ④忘れ物をしていない、以上の観点から評価						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	インターンシップ I A						学期	後	期
担当教員	横田 貴子	科目区分	専門	授業方法	実習・実技	分類	必修	単位数	1
学習目的	企業での体験実習を通して実践的な技術や就業に必要なコミュニケーションを身につける。								
授業内容	企業で通年で45時間以上の就業体験を行い、レポート提出と発表を行う。								
学習目標	就業体験を通して、業界理解を深め就職活動に役立てる。また実習を通して自主性・主体性・ビジネスマナーを習得する。								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる(毎週指定曜日)								
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	70 %	インターンシップに参加後、レポート提出・発表、実習先評価。						
	2. 授業姿勢	30 %	無欠席での参加。身だしなみ・挨拶等実習先評価。						
	3. テストその他	0 %	-						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	夏季休暇・冬期休暇中								

科目名	表現力 I A							学期	前 期
担当教員	長谷川万葉	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	学習を通して人とのふれあいを体験し、より良いリレーションを築く。社会において活用できるコミュニケーション能力やソーシャルスキルを身に付ける。「人と対話できる」「チームで協働できる」「相手に伝わる表現力を持ち、人前で堂々と発表できる」「社会において自分らしさを発揮しつつ、より良い集団づくりに貢献できる」ことを目指す。								
授業内容	コミュニケーショントレーニングや演劇的手法を取り入れたワーク(応用インプロ、シアターゲーム)、ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウンター等のグループワークを通して、コミュニケーションを実践的に楽しく学ぶ。多様な人とのふれあいの中で、自己を知り他者を理解する自他発見の場とする。								
学習目標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心等、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体を育てる。人と関わり合うことの楽しさを学び、自らのコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力等、人前でも堂々と発表できるような素地をつくる。								
使用テキスト	テキストなし。適宜、プリントを配布。								
週数	授業計画								
1	イントロダクション～授業内容の説明 自己分析と目標設定								
2	シアターゲームとコミュニケーショントレーニング								
3	雑談トレーニング								
4	対話と傾聴を学ぶ								
5	相手に伝わる話し方を学ぶ								
6	個人発表 SHOW&TELL								
7	コンテンポラリーダンス～言葉のいらぬコミュニケーションを体験する								
8	インプロ(即興演劇)～「Yes、And」思考を体験する								
9	インプロ(即興演劇)～チーム全員でゼロから創造する								
10	ディスカッション								
11	ディベート								
12	スピーチ①								
13	スピーチ②								
14	個人発表								
15	まとめと振り返り								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	授業内での課題(実技やワーク)に対して、①積極的、意欲的な参加 ②失敗を恐れず前向きに挑戦する姿勢 ③チームに協力する姿勢 以上の観点から総合的に評価する。						
	2. 授業姿勢	30 %	①欠席・遅刻 ②挨拶・授業態度 ③提出物 以上の観点から総合的に評価する。						
	3. テストその他	30 %	個人発表、グループ発表等。①発表の出来 ②そこに至るまでの過程 ③取り組み姿勢 以上の観点から総合的に評価する。						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗状況、理解度を考慮したうえで、授業の実施順、内容を変更する場合があります。								

科目名	就職支援 I A						学期	前	期
担当教員	横田 貴子	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	働くことの意義と重要性について考える。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 「何のために働くのか」「社会人としての心構え」「学生と社会人の違い」について(グループワーク)								
2	非認知能力の重要性、学科が目指す非認知能力について (学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
3	働くことの責任と意義(グループワーク)								
4	【意識は行動の原点】 仕事の基本となる8つの意識について学ぶ(グループワーク)								
5	会社の仕事の決まりやしぐみを理解する(グループワーク)								
6	人間関係とコミュニケーション(グループワーク) 非認知能力の振り返り自己分析①(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
7	ビジネスマナーの基本								
8	ビジネス文書「報告書の書き方」								
9	【礼儀としての身だしなみ】 スーツ着こなしセミナー								
10	インターンシップの事前授業								
11	仕事の進め方(5W2H)(PDCA)と報告・連絡・相談								
12	指示の受け方と「報告、連絡、相談」の重要性とポイントを知る。								
13	業界研究、企業研究、インターンシップ先検討								
14	インターンシップに向けての自己分析(エントリーシート作成)								
15	インターンシップに向けての目標設定								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出						
	3. テストその他	30 %	確認テスト結果より算出						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	就職支援 I B						学期	後	期
担当教員	横田 貴子	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。								
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。								
学習目標	就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。								
使用テキスト	Bit就職ハンドブック								
週数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る								
2	インターンシップの振り返り								
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
4	業界・職業研究								
5	企業研究								
6	自己分析講座								
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座								
8	履歴書作成の実践①								
9	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)								
10	インターンシップの事前授業								
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断								
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について								
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)								
14	面接対策講座								
15	非認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出						
	2. 授業姿勢	30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出						
	3. テストその他	30 %	確認テスト結果より算出						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	-								

科目名	総合演習 I A						学期	前 期	
担当教員	横田 貴子	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	校外研修や企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。								
授業内容	通年を通して実施される学科イベントに参加する。								
学習目標	学科活動に積極的に参加できる。校内外の人とコミュニケーションがとれる。								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	イベント演習								
2	イベント演習								
3	イベント演習								
4	イベント演習								
5	イベント演習								
6	イベント演習								
7	イベント演習								
8	イベント演習								
9	イベント演習								
10	イベント演習								
11	イベント演習								
12	イベント演習								
13	イベント演習								
14	イベント演習								
15	イベント演習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	課題及びレポートを評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	無欠席での参加、身だしなみ・挨拶等ビジネスマナー						
	3. テストその他	20 %	イベント演習の成果を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	不定期に実施される学科イベントがある場合がある。								

科目名	総合演習 I B						学期	後 期	
担当教員	横田 貴子	科目区分	一般	授業方法	演習	分類	自由選択	単位数	1
学習目的	校外研修や企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。								
授業内容	通年を通して実施される学科イベントに参加する。								
学習目標	学科活動に積極的に参加できる。校内外の人とコミュニケーションがとれる。								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	イベント演習								
2	イベント演習								
3	イベント演習								
4	イベント演習								
5	イベント演習								
6	イベント演習								
7	イベント演習								
8	イベント演習								
9	イベント演習								
10	イベント演習								
11	イベント演習								
12	イベント演習								
13	イベント演習								
14	イベント演習								
15	イベント演習								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題	50 %	課題及びレポートを評価する						
	2. 授業姿勢	30 %	無欠席での参加、身だしなみ・挨拶等ビジネスマナー						
	3. テストその他	20 %	イベント演習の成果を評価する						
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他	不定期に実施される学科イベントがある場合がある。								